



かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院
理事長兼院長 福永 明広

シーガル病院

検索

記事紹介

理事長新年のご挨拶
今年最後のレク
手作り門松
研修医インタビュー
安否確認メール訓練
給食だより
Dr.sエッセイ

1 面
2 面
2 面
2 面
3 面
3 面
4 面

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)



新年明けましておめでと
うございます。

2023年は十二支でい
うと「卯年」、十干では
「癸」となり干支は「癸卯
(みずのとう)」となるそ
うです。これには「冬の門
が開き、飛び出る」という
意味があるとされています。
すなわち、3年にも及
んでいるコロナが終息して
閉塞していた全てが飛躍に
向かうと解釈するのは気が
早すぎるでしょうか？

当院も昨年は病棟単位で
2度のクラスターを経験し
ました。本部を立ち上げ、
保健所との頻回なやり取り、
濃厚接触者の割り出し、病
棟ではゾーニングを行い、
PPEでの患者さんへの対
応等々、職員は本当に尽力
してくれました。

世間はウイズコロナでは
通常の日常に戻りつつあ
りますが、医療機関や施設
等はまだまだゼロコロナの
ために神経を尖らせていま
す。

さて世界を見渡すと、コ
ロナだけではなく多くの問
題を孕んでいます。中国の
覇権的な世界進出、長期化
しているウクライナ情勢、
年々深刻化している温暖化
問題、環境破壊等、人類の
未来を脅かす問題が山積し
ています。もはや自国の利
益だけを追求するのではな
く、人類が存続する方向に
向けて世界は舵を切るべき
ではないでしょうか？

わが日本で喫緊の課題と
いえば、少子化問題でしよ
う。昨年の出生数は統計を
取り始めた1899年以降
初めて80万人を割る見通
しで、このままでは日本の
繁栄はありえないと思われ
ます。一刻の猶予もありま
せん。早急な子育て支援の
拡充が求められます。

暗い話題ばかりなので、
明るい話題を。昨年末に行
われたサッカーワールド
カップは日本、そして世界

を熱狂させてくれました。
日本はベスト8は逃したも
の、かつての優勝国であ
るドイツとスペインを撃破
するというジャイアントキ
リングを成し遂げてくれま
した。決勝も歴史に残る死
闘の末、メッシ率いるアル
ゼンチンが優勝しました。
神であるマラドーナと常に
比較され続け、苦しんでき
たメッシ。呪縛から解き放
たれた後の、弾けるような
彼の笑顔に胸を熱くした人
は多いのではないでしょ
うか。

最後になりますが、本年
が皆さんにとって「飛躍」
の年になることを祈念しま
して新年の挨拶とさせて頂
きます。

理事長

福永 明広



レクリエーション

令和4年最後のレクリエーションを行いました

12月29日(木) 令和4年最後のレクリエーションが行われ、今回は3, 4病棟の様子を取材しました。

3病棟では、温かい生姜湯を飲みながら今年1年を振り返る懇親会が行われました。楽しかった思い出や今年行われたレクリエーションの振り返りなど、話に花が咲いて盛り上がっていました。また、3病棟には患者さんが作製した季節ごとの切り絵作品も展示され、明るい雰囲気になっていました。

4病棟では、体内時計を計るゲームが行われました。一人ずつ順番に「1秒」と「10秒」を、ストップウォッチの表示を見ずに感覚で計るゲームです。とても近いタイムを出した方もおられ、その時には歓声や拍手が起こり、大変盛り上がっていました。



シーガルニュース

手作り門松を飾りました

12月29日(木) 令和4年最後の営業日に、手作りの門松を飾りました。

副院長、作業療法、管理のスタッフが協力し、立派な門松が完成しました。



インタビュー

研修医インタビュー

11月14日から12月11日まで鳴門シーガル病院にて、鳴門病院より研修医の先生が病院実習にいられていました。研修最終日に病院の印象などお聞きしました。

鳴門病院 岩朝一馬 先生



(鳴門シーガル病院の印象は?)

当初はのどかで、閉鎖的なところというイメージがありました。しかし研修で来てみるとオープンな感じで、売店や喫茶店もあり充実した環境であることを実感しました。

(趣味は?)

スポーツ観戦で、主に野球とサッカーを見ています。テレビでの観戦が多いですが、実際に現地で観戦するときもあります。

(今後・将来の夢)

麻酔科の医師をめざし、頑張っていきます。

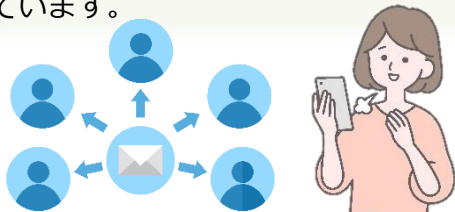
当法人では、大きな災害が発生した際に、職員へ迅速な情報の共有と収集ができるシステムを導入しております。

具体的には、

- ①徳島県内で震度6弱以上の地震が発生したとき
- ②徳島県内で1m以上の津波が観測されたとき
- ③徳島県内に特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪）が発表されたとき

上記の気象庁が発表する災害警報に連動して、自動で職員全員の携帯電話に安否確認メールを送信します。メールを受信した職員は、自分の安否情報を入力フォームにて回答します。回答した情報は法人本部でリアルタイムで確認することができ、被災状況の共有や事業復旧に活用します。

また、このシステムには一斉送信メール機能が備わっています。近年では、新型コロナウイルスの流行による注意喚起や、当法人内で感染者が発生した際の情報共有。台風接近に伴う保安体制の情報など、全職員への情報発信ツールとしても活用しています。



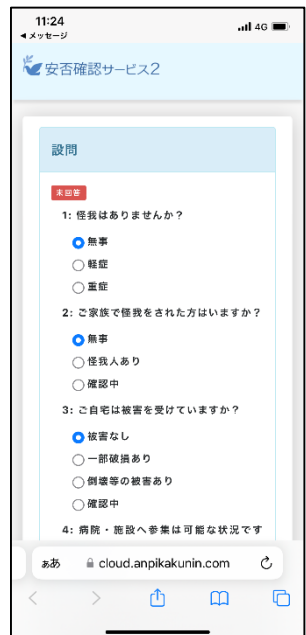
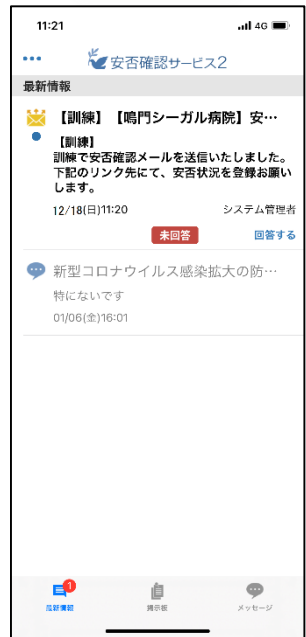
しかし、不規則の送信になってしまったため、携帯電話の機種変更やメールアドレスの変更等により受信できない職員も出てきます。それを防ぐため、当法人では年に4回、送受信の訓練を行っております。

12月18日（日）に今年度3回目の訓練を行いました。24時間以内に回答してきた職員数を集計し、回答率を算出して全職員へ公表しております。今回は、回答率97%、直近6回分の平均は96%と、比較的高い回答率を維持できているという結果になりました。

高い回答率を維持できている要因として、ひとつは職員一人一人の意識向上が考えられます。もうひとつは、携帯アプリの普及です。以前は、内容を確認する手段はメールしかありませんでした。そのため、メールの見落とし、迷惑メール設定による未受信が発生し、思うような成果が生まれませんでした。携帯アプリには通知機能や、メールを介さず直接アプリへ送信する機能が備わっているため、上記の短所を解消し、確実に情報が届く仕組みになっています。

今後も訓練を繰り返し行い、回答率100%を目指すとともに、情報共有ツールとして幅広く活用していきたいと思っております。

画面表示例



給食だより



お正月の給食は、例年恒例となっております「おせち料理」を提供いたしました。昆布や数の子など、縁起の良い食材を使用した内容となっております。

また、おやつやジュースも提供させていただき、患者さんには大変喜んでいただきました。





私は、自宅にこもっている人や活動量が減っている方に「散歩しましょうよ」と声を掛けるようにしている。自分が歩いてないのに他人に歩けというのはフェアじゃないので、私もウォーキングするようにしている。少々の雨風なら、靴やズボンが濡れることも気にせず、傘を差して歩いている。

歩くのにはいろいろと効用があって、第一に、動くことによって体力や筋力の維持が出来る。また、外に出ると必然的に太陽光を浴びることになるので、心や身体のリズムが整いやすい。できれば、午前中に歩くのが良いと思って、そうお勧めしている。

ところで、精神療法・心理療法のひとつの方法として、マインドフルネスというものがある。通常はリラックスした体勢で行うものなのだが、

最近、「身体の感覚を研ぎ澄ませば、ウォーキングしながらでも出来るかもしれない」と思うようになった。

クリニック近くの公園周辺を歩いている。冬場になると吐く息が白い。マスクのせいでメガネが曇る。堀の水は夏場より藻が少なく、澄んでいる。イナのような魚が泳いでいる。鴨の親子が水の上に浮かんで…。気配！…危ない！集団で歩いてきた学生さんとぶつかりそうになる…。雑念…。

地上では枯れ葉が風に舞い、カサカサという音。芝生は茶色く枯れ、埃っぽい。クークーと鳴きながら鳩が何かをついばむ。頭上からはチイチイと鳥の声。桜の木々も今は葉が落ちて…。気配！…危ない！通勤の自転車に追突されそうになる…。雑念…。

舗装道から砂利道へ。足の裏には小石を踏む感覚。前方からスマホを見ながら歩く人。毎日すれ違う人だ。心の中で「こんにちは」。お、傘を持っているぞ！これから雨が降るのだけ？しまった、忘れてきた！帰りにまた濡れるぞ…。雑念、雑念…。

今現在、身の回りに起きている出来事に意識を集中し、ありのまま受け止めるという意味では、ウォーキング中でもマインドフルネスはできるのかもしれない。周りに大勢人がいる状況では雑念が生じるけれど、屋外で五感を働かすだけでも意味がある。そう思って、私は朝夕に歩いている。

徳島シーガルクリニック



院長 谷口 隆英

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。理事長のあいさつの他、年末年始のイベントを中心に掲載いたしました。本年もよろしくお願いいたします。

次号（『かもめ便り』第31号）は、2023年5月に発行の予定です。

広報委員会



鳴門シーガル病院 交通案内

- JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦（どうのうら）下車（所要時間20分）

- 直営渡船利用（所要時間2分）

◎ 渡船（無料）運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航（10分～30分間隔）しています。

TEL088-688-0011（代）

